

# TE-W73HG 取付マニュアル

## ユニット名 MB-B+TE443

TE-W73HG (以降本製品と記述) の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

### 危険

適合が明記されている車種以外には取り付けできません。適合車種は、店頭の車種別ハーネス適合表でご確認ください。

マニュアル車へ取り付けすることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけるにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ事故につながります。



●マニュアル車には、取り付けできません。



●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。

●エンジン始動時に下記のような場合には、取り付けできません。



●アクセル操作が必要な車



●年間を通じて、始動操作をして2秒程度でエンジンのからない車

●雨滴感知ワイパー装着車には、取り付けできません。取り付けると車両故障の原因となります。

●注意 本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

●注意 配線作業時は、車両コンピュータの保護のため、必ず車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをかきめる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

●注意 本製品をしまい込む際は、次の点に充分注意してください。  
・チルトステアリングやコラムシフトを可動した時に、ハーネスの噛み込みが起らないこと。  
・ブレーキペダルやアクセルペダルの操作に本製品が干渉しないこと。

●注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

●注意 OBD IIコネクターから車両と通信を行う機器とは併用しないでください。誤作動の原因となります。

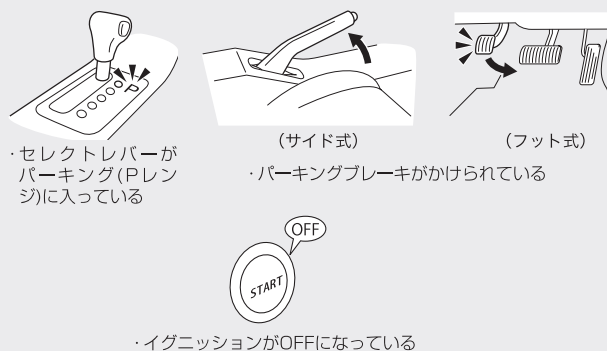
### 付属品一覧

- ・リモコン 1個
- ・本体(メインユニット)1個
- ・ワンタッチコネクター 1個
- ・危険シール 1枚
- ・注意シール 1枚
- ・結束バンド(大) 1本
- ・結束バンド(小) 5本
- ・イモビ付車対応アダプター (TE443) 1個
- ・専用ハーネス (TE113) 1セット
- ・イモビライザー接続コード 1セット
- ・メインユニット接続コード 1セット
- ・両面テープ (35×30mm) 1枚
- ・サイドブレーキ検出コード(橙1本)

## 配線のしかた

各ハーネスの配線場所は、車種によって異なります。詳しい配線場所については弊社ホームページから車種別配線情報 (ビットマニュアル) をご確認ください。

### 1 車両が次の状態になっていることを確認します。



### 2 アンダーダッシュを外して、本体の取り付け位置を仮決めします。

本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。運転を妨げないか注意して、おおまかな取り付け位置を決めます。

参考 まだ固定しないでください。

メモ 場所決めのポイント

- ・しっかり固定できますか?
- ・各ハーネスやコードの長さは足りていますか?
- ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか?
- ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分(ボディやコード類など)から5cm以上、離れていますか?(ETC、レーダー探知機、ナビゲーション機器のアンテナからはできるだけ離してください。)

### 3 車両のビットマニュアルで指定した位置に専用ハーネスをしっかり接続します。

注意 必ず正しいコネクターに接続してください。誤った場所に取り付けると、車両故障の原因になります。

### 4 専用ハーネスのコードを車両へ配線します。

| コード       | 車両への配線                        |
|-----------|-------------------------------|
| アースコード(黒) | 車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。 |

メモ 詳しい配線場所はビットマニュアルを参照

- 注意 アースが不完全のときは動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けてください。
- 注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

### 5 13Pコネクターを本体にしっかり差し込みます。

### 6 イモビ付車対応アダプター(TE443)を取り付けます。

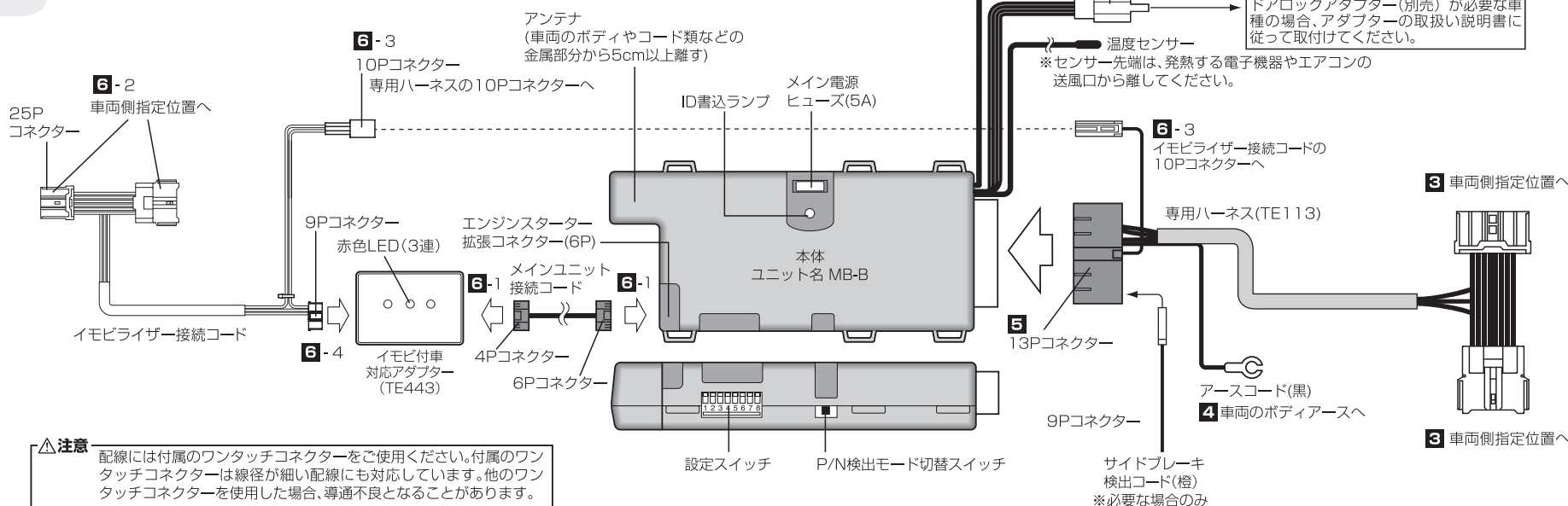
メモ 詳しい配線場所はビットマニュアルを参照

- 1) イモビ付車対応アダプターとメインユニットを、メインユニット接続コードで接続します。
- 2) イモビライザー接続コードの25Pコネクターなどを車両の指定位置へ接続します。
- 3) イモビライザー接続コードの10Pコネクターを、専用ハーネスの10Pコネクターへ接続します。

### 6 イモビ付車対応アダプター(TE443)を取り付けます。

- 4) イモビライザー接続コードの9Pコネクターを、イモビ付車対応アダプターへ接続します。
- 5) すべての配線が完了した状態で、イモビ付車対応アダプターの天面にある3つの赤色LEDが同時に連続点滅していることを確認してください。

メモ LEDが点滅していない場合は、各配線の接続および本体の専用ハーネスの接続を確認してください。



注意 配線には付属のワンタッチコネクターをご使用ください。付属のワンタッチコネクターは線径が細い配線にも対応しています。他のワンタッチコネクターを使用した場合、導通不良となることがあります。

ハーネス・アダプターの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。

# 動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。

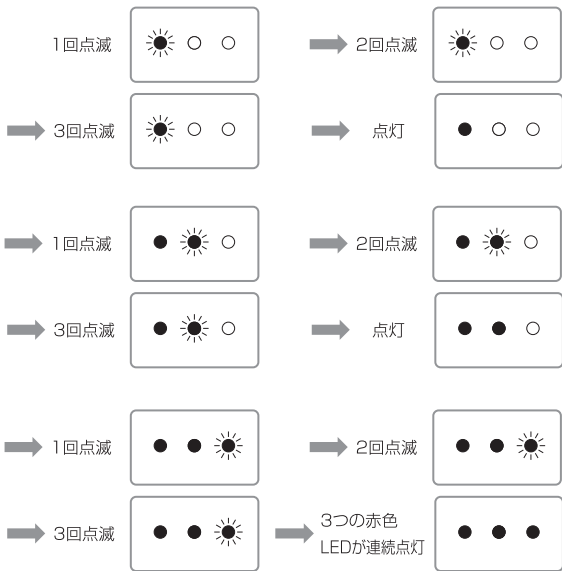
## 1 イモビ付車対応アダプター(TE443)にイモビデータの読み込みを行います。

イモビデータの読み込みには約5~10分ほどかかります。また、本品の付替えを行った場合は、別途TE443の初期化が必要で

- ① すべての配線が完了した状態で、本品の天面にある3つの赤色LEDが同時に連続点滅している事を確認してください(図1)。  
※LEDが点滅しない場合は、各配線の接続および本体メインユニットの車種別専用ハーネスの接続を確認してください。

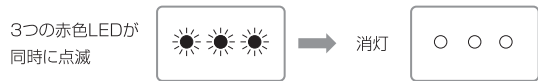


- ② 車両本来の方法でイグニッションをONにすると(※1)、イモビライザーの通信データを本品に読み込み始めます。通信データ読み込みの進捗状況に応じて、3つのLEDが端から順番に「1回点滅」→「2回点滅」→「3回点滅」→「点灯」へ発光パターンが変化します。読み込みが完了すると3つの赤色LEDが連続点灯します。  
※1 車両のイグニッションをONにする方法については、車両の取扱説明書をご確認ください。

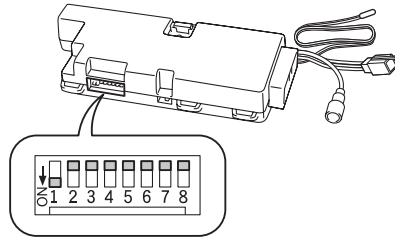


メモ 3つの赤色LEDが連続点灯しない場合  
本品から4Pコネクタ(オモテ面配線概要図の 6-1)を抜き、再び接続し直してください。3つの赤色LEDが同時に連続点滅すること(図1)を確認し、②の作業を再び行ってください。この時、3つの赤色LEDが同時に点滅後に消灯する場合は本品の初期化が必要となります。

- ③ 車両のイグニッションをOFFにし、3つの赤色LEDが同時に点滅後、消灯することを確認してください。



## 2 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



### 設定スイッチ

| スイッチNo. | 機能          | OFF  | ON    |
|---------|-------------|------|-------|
| 1       | パーキングブレーキ検出 | 検出する | 検出しない |
| 2       | フット/PN切替    | フット  | P/N   |
| 3       | IG2制御       | 通常   | 特殊    |
| 4       | L端子配線       | なし   | あり    |
| 5       | 未使用         | -    | -     |
| 6       | グロータイム      | 8秒   | 5秒    |
| 7       | OP端子出力      | A    | B     |
| 8       | ID書込        | 通常   | 書込    |

は工場出荷時設定です。

メモ 詳しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

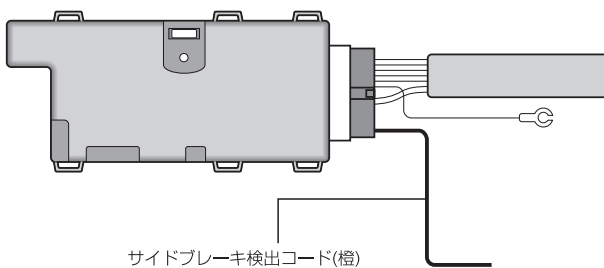
## 3 動作確認を行います。

- ① 純正スマートキーを車から離れた場所へ移動させた後、TEシリーズのリモコンでエンジンスターートの操作を行い、エンジンが正常に始動するか確認してください。また、ドアロック/アンロックができるかどうかも確認してください。
- ② 車両本来の方法でエンジンが始動できることを確認してください。

## 4 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両の次のコードに取り付けます。

メモ 配線場所はピットマニュアル参照

メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。



## 5 サイドブレーキ検出コード(橙)を取り付けた場合は、設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

## 6 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

## 7 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



## 8 付属の注意シールを、車両のOBDIIコネクタ(故障診断コネクタ)周辺に貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

### 参考

車種別配線情報(以下、ピットマニュアル)もご覧ください。

#### ご利用方法

- 1) <http://www.carmate.co.jp/matching/> にアクセスします。
- 2) 表示される案内に従い、製品ジャンルと車種・年式・グレードを選択してください。
- 3) 適合検索結果のページに表示される「車種別配線情報」のリンクから、ピットマニュアルを参照してください。閲覧にはAdobe Acrobat Readerのインストールが必要です。

#### ご利用上の注意

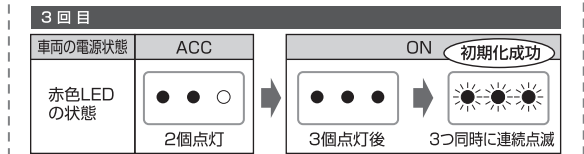
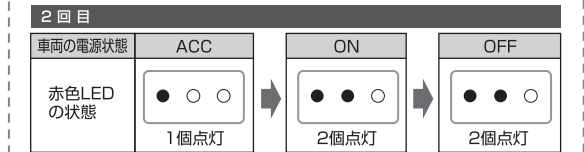
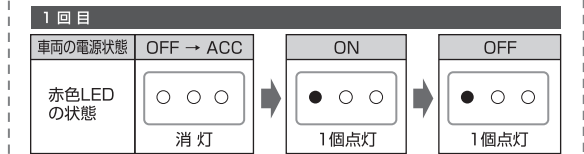
- ※ピットマニュアルは全車種を網羅するものではありません。
- ※ピットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありません。
- ※当サービスを利用して、カーメイトリモコンエンジンスターター以外の製品を取付けた場合の不具合は一切補償しかねます。
- ※車種別配線情報の無断転載・無断引用・商用利用・無断リンク等の行為は固くお断りします。
- ※上記注意事項に反する行為が認められた場合、予告無くサービスの中止や提供方法の変更を行う事があります。

### イモビ付車対応アダプター(TE443)の初期化方法

- ① 443から4Pコネクタ(オモテ配線概要図の 6-1)を抜き、再び接続し直してください。



- ② 車両本来の方法で、30秒以内にイグニッションのON→OFFを3回繰り返してください。イグニッションをONにする毎に、赤色LEDが「1個点灯」→「2個点灯」→「3個点灯」と発光パターンが変化します。3つの赤色LEDが同時に連続点滅すると、初期化作業は成功です。

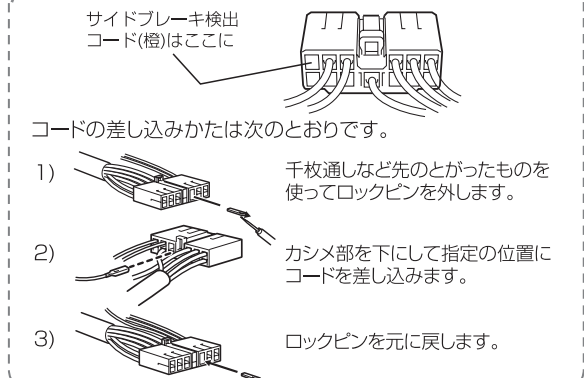


メモ 3つの赤色LEDが同時に連続点滅しない場合  
①からの作業を再び行ってください。

### ワンタッチコネクタの使いかた

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) プライヤーなどで金具を押し込む
- 4) カバーをして絶縁テープを巻く

### 専用ハーネスの各種コード差し込み位置



取り付けに関するお問い合わせ先  
カーメイトサービスセンター  
Tel: (03) 5926-1216 (代表)  
Fax: (03) 5926-1218